

巻機山 - 井戸尾根往復

190. 4. 15 (日) 曇のち雨、上部は濃霧

メンバー： 久保田

前日に新潟に帰省していて、夜、テレビを見ていたら中越地方は20～30%の降水確率という予報だった。なんとかお天気が持つかも知れないと思い、急遽、準備をする。仮眠してからの出発では寝過ぎ心配があるので、夜11時すぎ出発する。途中、塩沢インターを降りた所で仮眠する。朝、6時頃、清水の森林組合の管理棟の駐車場に車を止める。さすがに、日曜日のせいか、車が多く、20台位駐車している。仕度をして、7時すぎに出発をする。山の上のほうは、濃い霧に隠れているし、下のほうは雪がまばらにしか見えず、とても快適な滑りは期待できそうにない。

登山道からはシールをつけて、右手の米子沢寄りの斜面を進み、井戸の壁の急斜面ではスキーを外して登る。急斜面は雪が少なく、ガックリ気落ちしてしまっただが、登りきると一面、雪の斜面が広がっていてホッとす。しかし、それもつかの間で、次第にガスが濃くなり、檜穴の段の急斜面を登りきるころには、霰まで降ってきた。

濃霧のせいか、ニセ巻機までで下山する人達もいたが、もう少しガンバロウと思い、避難小屋の先まで進む。小屋の前にはスキーがいくつも立ててある。何も見えず、バテてきたので、適当な所で休憩をとる。

1時すぎに滑り降りる。赤布が適当な間隔であるのだが、視界が悪く、次の赤布まで見えない。トレースをはずさないように、慎重に滑る。ニセ巻機からの急斜面のところでは左手の斜面を滑ろうか迷ったが、視界も悪いし、単独のことでもあり、登って来た雪のところどころ消えているところを、スキーを外して下る。

右の割引沢よりの斜面を、雨が次第に強くなったが、ガスが切れスッキリと鮮明な視界の中を気持ちよく滑る。この短い滑りが唯一の楽しい滑りだった。次第にヤブで滑りにくくなったので、3合目のあたりでスキーを外す。

駐車場に3時半ころに着き、山桜を見物がてら帰る。

タイム 省略